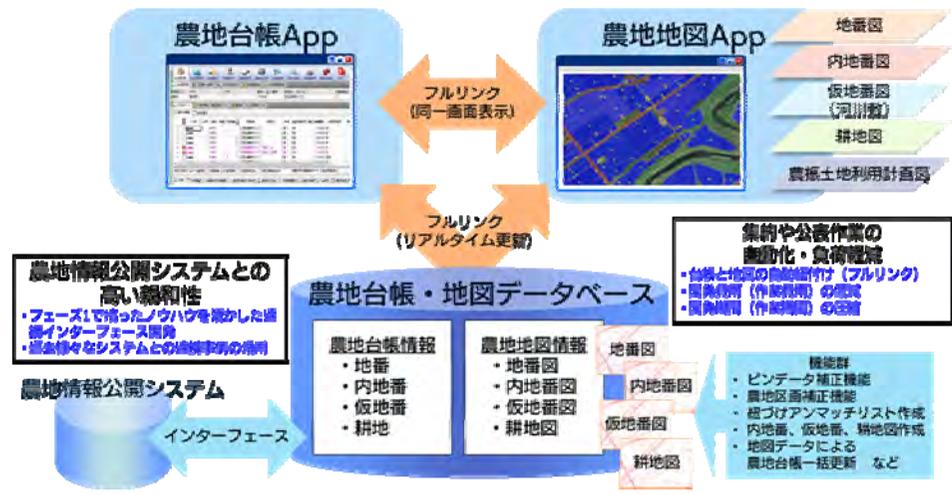


4 フェーズ2システム実現内容（設計開発等事業者提案書抜粋）

各農業委員会等利用システム 農地台帳と農地地図のフルリンク

農地台帳と農地地図のデータベースが一つなのでフルリンク機能を使い農地情報の一括変換可能。情報の一元管理によりデータの正確性・最新性の担保を同時かつ高次元で実現することができます

本事業におけるシステム化要求に対してFIT&GAP分析評価を行った結果、要件事項への適合性が優れているユニオンデータシステム社製の農地台帳・農地地図ツールAgencyMAXとAgencyMAPをベースに構築。マルチテナント方式を採用することで、開発コストの削減、開発工期の短縮を図ります。データベースは農業委員会様ごとに個別に構築することにより、メンテナンスや障害時の全ユーザへの影響を回避します。



- 農地台帳と農地地図のフルリンクの実現**
- 農地台帳と農業上で取り扱う様々な地図との双方向リアルタイム連携
 - 台帳・地図連携による事務作業の効率化
 - 台帳情報と複数の地図を重ねあわせ表示することによる情報把握レベルの向上

農地中間管理機構利用システム Microsoft社のDynamics CRM

プロトタイプ型の開発を通して業務プロセスを可視化・標準化。農地中間管理機構の農地利用の集積・集約化業務にジャストフィットなシステムを提供します

農地中間管理機構利用システムはモデル地域と連携し、業務プロセスの可視化、標準化を推進しながらシステム開発を実施していきます。プログラミング無しの設定ベースで改善できるツールかつ、システム化要求に対してFIT&GAP分析評価を行った結果、要件事項への適合性が優れている「Microsoft社のDynamics CRM」パッケージを活用します。業務の必要性に対して、素早く（かつ安価に）業務改善を実現することが可能であり、PDCAサイクルを早く回し、農地集約の目標達成に近づけることができます。蓄積したデータを自由に分析し、様々な業務に役立てるための分析機能も充実しており、統計機能にもマッチしています。外部システムとの連携も容易であり、格納システムと連携して農地台帳・農地地図の検索機能、集積シミュレーション機能を提供します。既に業務分析を開始し、業務に対して理解を深めています。

